

水路の苦
陸路の苦

パツル
氷河の

ギルギツ
ト、スリ
ナガル
間の
道路

ブル
ジルの
嶺の
難處

此の難路に向つては、馬匹は其の馬具を離脱して、土人の善く涸ぐものをして之を溪水中に牽かしむ、之を陸行の難に比すれば、水の寒冷流勢の急速更に幾層の困難なるやを知らず。殊に其水は解雪直下して、寒冷氷の如く、其困苦察するに餘り有り。然れとも幸に斯る峻悪なる箇所は陸上約二町、水中約一町許なりと云ふ。

斯の如き峻悪なる道路の外、尙ほ幾多の騎行すべからざる難處あるも、概ね兩手補助の要なくして歩行し得べし。パツル氷河は、約二十町に亘り、堅氷上花崗石の碎片を露出して、足一たび之を踏むや忽ち滑走顛倒す。騎行は最も危険なるを以て、皆下馬し、細心注意しつゝ、挽索を以て相引く。加ふるに又處々約一、二尺の深き罅裂あり、誤て陥れば、攀登すべくも非ざるなり。

ギルキツトよりスリナガル間は、印度政府邊境防備の爲め、幅約三米突、最急勾配十分一を超えざる、良好の道路を修築し、處々驛遞を置き、行旅の便に供す。然れども一般人民の爲めには、馬車を使用するを許さず。惟ふに車轍の路面を害し、一朝有事の際妨害と爲らんことを慮る爲めなるべし。此間の難處はブルジル嶺に有りて、該嶺はヒマラヤ山脈に屬し、其の絶巔は海拔一萬三千五百尺、道路は稍々良好な